

(公財) 国連大学協力会 2024 年度事業計画

FY2024 Operational Plan

The Japan Foundation for the United Nations University

【基本方針】

【Basic Guidelines】

公益財団法人国連大学協力会は、日本・東京に本部のある国際連合大学（以下「UNU」）の活動を支援することを目的としており、我が国国内における UNU の周知と、国連大学本部および同じく東京にある国連大学サステイナビリティ高等研究所（以下「UNU-IAS」）の教育・研究活動への支援を行っている。

UNU は、1975 年に創設され、国際連合大学憲章において「人類の存続、発展および福祉にかかわる緊急かつ世界的な問題の研究」を行うものとされている。それゆえに UNU は、国連及び関係機関に対し、革新的な政策の選択肢を支える客観的で偏りのないエビデンス（学術的根拠）に基づく「中立的なナレッジ・ブローカー（知識の仲介者）」としての役割を果たしている。

このことから、UNU の活動は、2015 年に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」と密接に連携し、17 の持続可能な開発目標（SDGs）のすべての範囲と一致し、それらを網羅している。UNU は、5 つの大陸に広がる 13 カ所の研究所とプログラムに、約 900 名の研究者とサポートスタッフを配し、学術的な根拠に基づく解決策を見出し、国連システムと国連加盟国が SDGs に掲げられているターゲットを実現するための現実的な政策を提言している。また、UNU は、若手の学者が知識の拡充、応用、普及に寄与する能力を高められるようにするため、専門的な教育を受ける機会を整備し、大学院学位プログラムを複数提供している。グローバルな学習は 1980 年代後半から UNU の研究の重点分野となっており、2005 年からは持続可能な開発のための教育（ESD）プロジェクトを通じて地域や地方の ESD イニシアチブをつなぐ学習ネットワークを促進している。

UNU-IAS は独自の教育コースやプログラムを幅広く提供している。分野横断的な問題に力を入れ、今後発生する問題や課題に効果的に対処するために必要な知識や技術を未来のリーダーが身に付けるサポートをし、UNU-IAS 大学院学位プログラム、専門分野における科目等履修プログラムやコースを実施し、さらに若手研究者が UNU の政策専門家と共に働きながら学べる機会も提供している。また UNU-IAS は、革新的な研究手法と多様なアプローチを駆使し、従来の考え方に挑むことで、地球規模で懸念される課題に対して独創的な解決策を生み出そうとしている。

2025 年に UNU が 50 周年を、そして本法人が 40 周年を迎えることから、本法人の 2024 年度の事業活動は、2023 年に引続き UNU の活動をより周知することに努め、本法人の公益事業のさらなる活性化を図ることを基本方針とする。

The Japan Foundation for the United Nations University (JFUNU) aims to support the activities of the United Nations University (UNU) with its headquarters in Tokyo, Japan. To fulfil this purpose, JFUNU has been disseminating UNU to Japan, supporting UNU Headquarters and supporting capacity development and research of the United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS) also in Tokyo, Japan.

UNU was established in 1975 by the United Nations (UN) and the UNU Charter mandates the University to devote its work to “research into the pressing global problems of human survival, development and welfare”. Therefore, UNU fulfils its role as a “neutral knowledge broker” that can provide an objective, impartial evidence base to support innovative policy options for the UN and related organizations.

For this reason, the UNU programmes align closely with the 2030 Agenda for Sustainable Development adopted by the UN in 2015 and generally encompass the full range of the 17 Sustainable Development Goals (SDGs). UNU has more than 900 researchers and support personnel, working in 13 institutes and programmes on five continents. UNU organises specialised training opportunities and offers several postgraduate degree programmes that enhance the capability of young scholars to contribute to the extension, application, and diffusion of knowledge. Global learning has been an area of focus of UNU research since the late 1980s, and the Education for Sustainable Development (ESD) project has been fostering learning networks among regional and local ESD initiatives since 2005. They are developing solutions based on academic efforts and advocating realistic policies that will enable the UN system and the UN Member States to reach the targets encapsulated in the SDGs.

UNU-IAS offers a range of unique educational courses and programmes. These focus on cross-cutting issues and help equip the leaders of tomorrow with the knowledge and techniques that they will need to effectively address emerging problems and challenges. UNU-IAS awards postgraduate (master’s and doctoral) degrees; organizes specialized non-degree programmes, and courses; and provides opportunities through which young researchers can work alongside, and learn from, UNU policy experts. Additionally, UNU-IAS applies innovative approaches and research methods to challenge conventional thinking and develop creative solutions to emerging issues of global concern.

As UNU will celebrate its 50th anniversary and JFUNU will celebrate its 40th anniversary in 2025, the basic policies for JFUNU activities for FY2024 will strive to disseminate UNU's activities, as in 2023, and to further revitalize our public benefit services.

【事業計画】

【Operational Plan】

I. 国連大学の活動への周知と支援を高めるための広報・キャンペーン

[Outreach Campaign on UNU's Activities]

UNU の活動の周知と支援を高めるために広報・キャンペーンを行う。

1. 広報資料の作成（継続事業）

[Promotional Materials] (On-going Mission)

(1) ニュースレター（継続事業） [Newsletters] (On-going Mission)

UNU-IAS の大学院学生のご生活ぶりや本法人が大学院学生を対象に主催したイベントへの参加の様子などを掲載するなど UNU を身近に感じてもらえるよう編集内容に工夫を凝らしてきた。2024 年度は、年間 2 号以上の発行を目標とし、よりいっそう具体的に教育活動等の様子や本法人の活動内容を伝えることを目指す。

(2) 各種パンフレット（継続事業） [Brochures] (On-going Mission)

本法人の活動概要を分かりやすく解説したパンフレット等の充実を図る。

2024 年度発行予定

・「国連大学と国連大学協力会 2024」

・「国連大学・国連大学サステナビリティ高等研究所/大学院プログラム支援募金募金趣意書」2024 版

2. インターネットによるキャンペーン（継続事業）

[Campaigns through Internet] (On-going Mission)

(1) ウェブ活用による広報の拡充（継続事業） [Updating of Website] (On-going Mission)

本法人ウェブサイトのコンテンツを充実し、よりわかりやすい情報発信を展開する。SNS による広報の充実とともに、YouTube を活用した本法人独自のコンテンツのさらなる充実を図る。

また、引き続き UNU および UNU-IAS の広報担当との連携を強化し、UNU および UNU-IAS の活動内容やイベント情報の積極的な告知や記事の紹介を行う。

(2) メールマガジン（継続事業） [E-mail magazine] (On-going Mission)

賛助会員および UNU や本法人の情報を直接的に希望する人々、UNU Alumni Association（UNU 同窓会）のメンバーに、UNU、UNU-IAS および本法人の様々なイベント案内を中心とした広報を展開する。引き続き、週 1 回発信する。

(3) 若年層への広報活動（継続事業） [Outreach to Young People] (On-going Mission)

近年、中学生・高等学校生・大学生の間で SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への関心が高まり、これら若年層の要望に応え、UNU School Visit（国連大学見学会）という形式の広報活動を UNU 広報部と連携し、オンラインまたは対面で実施してきた。2024 年度も引き続き若年層の人々を対象に実施し、UNU 及び国際問題への理解と関心を高めることを目指す。

(4) ロータリークラブ等での広報活動（継続事業）

[Outreach to the Rotary Clubs, etc.] (On-going Mission)

奉仕活動への関心が高い人たちに対して、UNU の活動への理解を幅広く広報する。その一環として、日本全国各地域のロータリークラブ等でオンラインまたは対面での講演・卓話機会の獲得に努める。

II. 地球規模課題解決に関する知識普及のための講演会・セミナー・シンポジウム等

[Lectures, Seminars, and Symposiums to Disseminate Knowledge regarding Solutions for the Global Issues]

UNU の活動について人々の周知と支援を高めるため、UNU と共催で、講演会やシンポジウム・セミナーなどを開催する。2025 年に UNU が 50 周年を、本法人が 40 周年を迎えることから、2024 年度は、周年事業への継続性を保った講演会、セミナー・シンポジウム等の開催を目指す。

1. 講演会（継続事業） [Lectures] (On-going Mission)

レクチャーを中心として、地球規模課題について知識の普及や理解の促進を図るもので、主として、幅広い国民層を対象に、緊急の地球課題について UNU の修了生や大学院学生を招き、国連の現場での経験や研究活動に基づく講演会等を実施する。実施に当たっては「2. セミナー・シンポジウム等」との合併も可とする。

2. セミナー・シンポジウム等（継続事業）

[Seminars and Symposium, etc.] (On-going Mission)

地球規模課題への取り組みについて、講演者相互の意見交換によるパネルディスカッションや参加者との討議が組み込まれたセミナー・シンポジウムを実施する。実施に当たっては「1. 講演会」との合併も可とする。

2024 年度は、UNU-IAS および茨城県と共催で『茨城県高校生国連グローバルセミナー』を実施する。

III. 国連大学への助成活動

[Grants for the United Nations University]

UNU の教育活動及び研究活動並びに教育研究環境整備に関して助成を行う。UNU への助成に当たっては、事前に UNU 関係者との連絡調整のもとに助成対象事業などを検討するとともに、具体的助成事業の選定・助成額配分などについては、本法人の「助成諮問委員会」の十分な審議を経て行うこととする。

1. 教育活動への助成（継続事業）

[Grants for UNU Capacity Development Programmes] (On-going Mission)

UNU の教育活動は地球規模課題の解決に従事するための高度かつ専門的な若き人材の育成を目的としている。大学院教育と短期研修活動への支援を行う。

(1) 国連大学サステイナビリティ高等研究所大学院プログラムの大学院生奨学金助成（継続事業）

[Scholarship Grants for UNU-IAS Postgraduate Programmes] (On-going Mission)

UNU の実施する大学院学位プログラムのうち、東京にある UNU-IAS の実施する大学院学位プログラムに対し創設時(2010 年)より、日本において安心して勉学と研究活動に専念できるよう修学環境を確保する観点から、大学院学生への奨学金として継続的に助成している。特に開発途上国からの学生への支援を重視し、2024 年度も継続して助成する。

(2) **国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの教育活動に対する助成（継続事業）**

[Education Support Grants for Postgraduate Degree Programmes] (On-Going mission)

UNU-IAS における大学院教育活動の充実を図るため、修士課程学生 2 名分の授業料相当額を助成する。2024 年度も継続して助成する。

(3) **国連大学サステナビリティ高等研究所の実施する短期研修への助成（継続事業）**

[Grants for Short-term Seminar by UNU-IAS] (On-going Mission)

UNU-IAS が行っている短期研修に助成する。特に「国連大学グローバル・セミナー (UNU Global Seminar)」は活動の歴史が長く、多くの修了生が国連や国際機関、教育機関に従事している実績を持っている。日本の若者も多く参加することから、国際相互理解の意義が高く、従前より継続的に助成している。2024 年度も継続して助成する。

(4) **その他の教育事業への助成（継続事業）**

[Grants for the Other Capacity Development Programmes] (On-going Mission)

その他、UNU との協議により必要とされる教育事業に助成する。

2. **研究活動への助成（継続事業）**

[Grants for UNU Research Projects] (On-going Mission)

UNU の研究成果は国連機関や世界の関係者等に対し、提言や解決方法を提示して還元される。この事業は、このような UNU の研究活動の重要性に鑑み、それらの研究活動への助成を行うものである。UNU-IAS の行う研究活動に対し必要に応じて助成する。

3. **教育・研究環境整備のための助成（継続事業）**

[Grants for Maintenance of UNU Educational and Research Environment]

(On-going Mission)

UNU の学生や研究者等が、安心して学習・研究に専念できる環境を維持するため、UNU の教育・研究活動上の環境整備に対して助成する。2024 年度も継続して助成する。

(1) **国連大学本部における教育・研究のための施設整備費（継続事業）**

[Maintenance of UNU Educational and Research Facilities] (On-Going Mission)

(2) **国連大学図書館の蔵書購入費（継続事業）**

[Purchasing Books for UNU Library] (On-Going Mission)

IV. **地球課題解決のための研究及び社会の取り組みについての調査・研究**

[Inquiry/Study related to Researches and Social Efforts to Settle the Global Issues]

地球規模課題の解決のための研究や社会の取り組みの実情について、必要に応じて調査・資料収集等を行う。

V. **国際相互理解の促進等に関する事業**

[Promotion of International Mutual Understanding]

UNU の諸活動を支援・協力するに当たっては、UNU 本部が日本に設置されていることの強みを活かし、UNU の諸活動に参加する世界各国の人々に、日本理解を含む国際相互理解の促進に資する機会を提供する事業を行う。

1. 国際情報交流事業（継続事業）

[Global Information Exchange] (On-going Mission)

UNU の教育プログラムは約 40 年の歴史を持ち、この間多様な教育活動を展開し、修了生たちは、国連機関・国際機関・国際 NGO・大学での研究活動など、緊急で地球規模の課題の解決を必要とする現場で活動している。これらの修了生たちは、UNU での教育期間修了後も、それぞれが関わっている課題の情報交流の機会を欲している。本法人では、2007 年に設立された UNU 同窓会の事務局を担う一方で、これらの世界各国で活躍する修了生たちと本法人賛助会員、日本人学生や学識者との国際情報交流の機会を講演会やシンポジウム等と連動して提供している。2024 年度も国際交流の機会を積極的に提供する。

2. 日本文化体験事業（継続事業）

[Japanese Culture Experience] (On-going Mission)

UNU の大学院学生や短期研修生並びに多様な講演会等の参加者は世界各国から参集する。これら世界各国から日本にやってくる若い人々に日本文化や日本の社会についての理解を深め、国際相互理解の促進に資するための事業を行う。古典芸能鑑賞や歴史施設訪問等、日本文化に直に接する機会や日本の先端企業の見学など日本の経済産業活動に直に接する機会を提供する。2024 年度は、公益財団法人森村豊明会からの助成金を活用して、歌舞伎鑑賞会、文楽鑑賞会、企業見学会や広島平和学習会等を積極的に実施する。

VI. 寄付金募金活動 [Fundraising Activities]

UNU は、日本国に本部を置く国連機関として、創設以来約 50 年にわたり東京を主要な活動拠点として国際平和への活動をグローバルに展開してきた。しかし、UNU は他の一般的な国連機関と異なり加盟国の分担金に基づく国連予算からの配分を全く受けていないことから、本法人は創設以来、継続的に UNU 支援のための募金活動を実施してきた。UNU は、近年、国連の提唱する SDGs に関する研究活動において顕著な貢献をしている。また、2010 年開講の UNU-IAS 大学院学位プログラムは国際社会への人材育成という観点のみならず、修了生たち、特にアジア・アフリカなど開発途上国出身者たちが、我が国の文化交流・社会経済交流にもたらす意義は大きい。

本法人は、2021 年に策定された「国連大学・国連大学サステイナビリティ高等研究所/大学院プログラム支援募金」の募金活動計画に沿い、募金活動推進委員会のもと、引続き 2024 年度も、新規先開拓などの積極的な活動を展開する。

1. 国連大学・国連大学サステイナビリティ高等研究所/大学院プログラム支援募金活動

[Fundraising Activities for UNU, UNU-IAS and UNU-IAS Postgraduate Programmes]

(On-going)

UNU 本部の諸活動及び UNU-IAS 大学院学位プログラム創設時より実施してきた大学院学生に対する奨学金と同プログラムが行う教育研究活動等への支援のための募金活動。UNU を支援するために本法人が行う事業活動への支援を含む。

(1) ifScholarship 賛助会員（継続）

[Fundraising Activities for the Scholarship Grants for UNU-IAS Postgraduate Programmes]

(On-going)

UNU-IAS 大学院学位プログラムの大学院学生に対する奨学金および同プログラムが行う教育活動への支援を得ることを目的としている。

世界各国から集う学生、特にアジア、アフリカ等開発途上国出身の学生が、我が国において安心して勉学に専念できるよう修学環境の確保に資する観点から、我が国経済

界や篤志家の協力を得て、同プログラム創設時より実施。2024年度においても引き続き募集を積極的に推進する。

(2) **一般賛助会員（継続） [Donation from Supporting Members] (On-going)**

UNU 本部の活動、UNU-IAS 大学院学位プログラムの教育活動及び本法人の事業活動に対して継続的・安定的な支援を得ることを目的としている。2024年度も引き続き募集を行う。

(3) **一般寄付金（継続） [General Donation] (On-going)**

UNU が実施する研究教育プロジェクト等への助成及び本法人の事業活動へ、任意の時期に任意の金額で支援を得ることを目的としている。2024年度も企業団体はじめ一般国民にも幅広く協力を呼びかける。

2. **多様な募金活動（継続） [Various Fundraising Activities] (On-going)**

UNU が実施する研究教育プロジェクト等への助成及び本法人の事業活動に支援を得ることを目的としており、古本回収(チャリボン)や古物買取(キモチと。)、ポイントの寄付利用(つながる募金)及びクラウドファンディング等といった形態により幅広く協力を呼びかける。2024年度においても引き続き注力する。また遺贈寄付への対応について体制を整えることを目指す。

VII. 本法人の管理運営活動 [Management and Operational Activities of JFUNU]

本法人は、公益財団法人への移行後14年目を迎え、諸活動は着実に実施され、UNUとの円滑な協力体制の下、活性化している。

また、理事会、評議員会及び監事会議の他、UNUへの助成については助成諮問委員会の意見を徴し、資産運用については資産運用委員会の意見を徴し、募金活動については募金推進委員会の意見を徴して運営しており、各会議ならびに業務執行理事の権限等の役割分担を明確にしている。

他方、我が国の金融状況は低金利で推移していることに加え、昨今の物価上昇の影響もあり、本法人のキャッシュアウトの継続による運用資産の減少とそれに伴う特定資産運用益の減少により、厳しい財務運営が続いている。

2024年の本法人の管理運営活動は、そのような状況を強く認識しつつ、丁寧に運営し、公益法人としての社会的責任を果たしていく。

以上